

新公立病院改革プランの概要 (令和元年12月10日掲載)

団体コード	052124
施設コード	1060

※赤書きの記載は、令和元年11月18日の改革プラン評価委員会において、点検・評価され、見直しし変更になった部分を表記している。

※評価欄(表右端)は、改革プラン評価委員会による評価達成の成否を記載
各数値目標の「前」:計画時の数値
各数値目標の「後」:実績数値または令和元年度以降の変更計画数値

団体名		秋田県大仙市								
プランの名称		市立大曲病院新改革プラン								
策定日		平成 29 年 3 月 13 日								
対象期間		平成 29 年度 ~ 平成 32 年度(令和2年度)								
病院の現状	病院名	市立大曲病院		現在の経営形態		公営企業法財務適用				
	所在地	秋田県大仙市飯田字堰東210番地								
	病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計		
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること		
診療科目	科目名	精神科・神経科								
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割(対象期間末における具体的な将来像)	<p>当院は、大仙・美郷を主な圏域とする精神科単科病院である。当地域では、高齢化に伴い認知症への医療需要が増加し、また、人口減少とりわけ年少・生産年齢人口の減少が、医療を必要とする人々に対する支援者や介護者の不足をもたらしている。</p> <p>精神疾患を持つ患者の地域生活、認知症患者とその家族を支える医療を確保するため、現行の外来及び入院体制を継続する。</p> <p>同時に、医療機関相互の連携、また医療を必要とする人と医療を結び付けるための医療・福祉・行政のネットワーク形成に積極的に関与し、専門病院としての立場からそれらのネットワークを支える。</p>								
	平成37年(2025年)における当該病院の具体的な将来像	<p>専門医療機関として、現行の入院及び外来機能を維持し、総合病院をはじめとする地域の各医療機関との連携、介護保険施設や居宅介護支援事業所等との連絡を強化し、入院及び外来患者を受け入れる。</p> <p>また、行政機能の一翼を担う公立病院として、行政の実施する介護・福祉施策に専門的な見地から積極的に協力、支援を行う。</p>								
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	<p>健康増進センターや高齢者包括支援センターなど、予防・啓発・相談を主な業務とする行政機関の活動や施策立案に、公立の専門病院として協力、支援を行う。</p> <p>地域連携、多職種連携に関する会議等とおして地域内の居宅介護支援事業所や介護保険施設と顔の見える関係づくりを進め、地域の介護の質の向上を支援しながら、医療を必要とする人を医療に結び付けていく。</p> <p>平成30年4月から市地域包括支援センターの認知症初期集中支援事業に参画し、認知症の方やその家族に対し、早期に支援する機能の一部を担っていく。</p>								
	③ 一般会計負担の考え方(繰出基準の概要)	<p>公営企業繰出基準に基づく繰出を基本とする。</p> <p>一般会計負担金の額は、普通交付税及び特別地方交付税の理論上の算入額の範囲内であることを基本としている。</p>								
④ 医療機能等指標に係る数値目標								30年度評価		
1)医療機能・医療品質に係るもの		26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	R01年度(計画)	R02年度(計画)	備考	(計画に比べて)
延べ入院患者数	前	39,182	38,495	37,412	35,115	38,325	39,055	40,150		未達成 (減)
	後	39,182	38,495	37,412	35,115	36,235	38,430	〃		
延べ外来患者数	前	14,409	14,405	14,020	14,048	14,152	14,640	14,640	訪問看護を除く	未達成 (減)
	後	14,409	14,405	14,020	14,048	13,944	14,160	〃		
訪問看護件数	前	555	739	596	578	576	648	648		達成 (増)
	後	555	739	596	578	687	612	〃		
2)その他		26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	R01年度(計画)	R02年度(計画)	備考	
地域連携に関する会議開催数	前	0	4	5	7	16	16	16	うち認知症初期集中支援推進事業チーム会議:8回(延べ20ケース検討)	未達成 (減)
	後	0	4	5	7	12	〃	〃		
医療相談件数(人)	前	779	782	779	630	800	800	820	相談人数	未達成 (減)
	後	779	782	779	630	625	〃	〃		
⑤ 住民の理解のための取組	ホームページにより、病院の取組みの紹介や経過報告を行い、地域住民の理解を得る。									

評価欄
↓

(2) 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標									30年度評価 (計画に比べて)		
	1) 収支改善に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	R01年度 (計画)	R02年度 (計画)	備考		
	経常収支比率(%)		前	101.8	104.6	105.0	102.2	101.6	102.1	101.6		達成 (高)
			後	101.8	104.6	105.0	102.2	103.5	100.6	〃		
	医業収支比率(%)		前	76.5	78.4	76.6	73.1	75.5	77.4	77.3		未達成 (低)
			後	76.5	78.4	76.6	73.1	74.4	74.4	〃		
	2) 経費削減に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	R01年度 (計画)	R02年度 (計画)	備考		
	職員給与費比率(%)		前	74.3	73.8	74.0	82.2	80.0	76.5	76.9	決算統計基準	未達成 (高)
			後	74.3	73.8	74.0	82.2	80.6	78.8	〃		
	後発医薬品の使用割合 (直近3ヶ月間数量)		前	-	-	54.6	61.6	70.0	70.0	70.0	加算3	達成 (高)
			後			54.6	61.6	79.3	〃	〃		
	3) 収入確保に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	R01年度 (計画)	R02年度 (計画)	備考		
	病床利用率(%)		前	89.3	87.9	85.4	80.2	87.5	89.2	91.7		未達成 (低)
			後	89.3	87.9	85.4	80.2	82.7	87.5	〃		
	平均在院日数 (精神病棟)		前	182.4	182.4	181.4	202.0	183.0	183.0	180.0		達成 (短)
			後	182.4	182.4	181.4	202.0	182.7	〃	〃		
	平均在院日数 (認知症病棟)		前	366.2	284.7	217.8	164.1	270.0	270.0	240.0		達成 (短)
			後	366.2	284.7	217.8	164.1	238.0	〃	〃		
	※平均在院日数(全体)		前	227.8	213.0	193.8	187.8	215.0	215.0	210.0	(参考)	達成 (短)
			後	227.8	213.0	193.8	187.8	199.1	〃	〃		
4) 経営の安定性に係るもの		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	R01年度 (計画)	R02年度 (計画)	備考			
医師数(人)		前	4.19	4.19	4.36	4.36	4.36	4.36	5.00		達成 (同)	
		後	4.19	4.19	4.36	4.36	4.36	〃	〃			
建設改良・減債等積立 額(百万円)		前	26	50	79	46	100	100	100		未達成 (少)	
		後	26	50	79	46	53	〃	〃			
上記数値目標設定の考え方		<p>医業収益の増加を目標とし、患者数の維持と提供する医療サービスの診療報酬へ適合を進める。 可能な施設基準の取得に取り組みながら、在院日数の短縮による効率の良い収益構造を目指す。 また、宿直専門医等の確保により常勤医の負担を軽減し、医師が専門的な見地から地域連携等のネットワークに協力できる体制づくりを進め、専門病院としての役割を確立することで地域への浸透を目指す。</p>										
② 経常収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)		<p>普通交付税、特別交付税に算入されている範囲内の繰入れを受け、経常収支はこれまで黒字を維持している。 しかし、医業収支は赤字であり、その赤字幅を縮小させることが目標となる。 医業費用の8割を医業収益で賄うことを目標とし、一般会計からの繰り入れが増大しないよう管理する。</p>										
③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)		民間的経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の標準化をととして、定型的な業務の委託化を進める。(施設管理業務について、28年度に一部を委託化し、29年度に通年での委託化を実施) ・再任用職員、退職職員を活用し、医療サービスの維持と充実を図る。 ・病院経営上の問題と対策を共有する院内会議を設置し、職員が一丸となった取り組みを進める。(平成27年4月から医療業務連携・施設運営委員会を月一回開催) 									
		事業規模・事業形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・市の高齢者包括支援センターから受託する認知症初期集中支援事業の体制整備を契機とし、訪問看護・指導や外来診療体制及び医療相談業務の拡充を目指す。 									
		経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策、医療安全管理体制の充実により、突発的に発生する経費を事前に抑制する。 ・旧型設備の更新に合わせLEDなど省電力機器の導入などにより、使用量の監視により光熱水費等の節減を強化する。 ・短期使用物品、小ロット備品についてリース化を進める。 									
		収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ・入院の在院日数の短縮。 ・訪問看護・指導の拡充。 ・診療報酬ゼロ査定減の実現。 ・未収金回収の推進。 									
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健指定医2人以上の体制を維持し、専門病院としての質を確保する。 ・接遇のさらなる向上、職員の資質向上に努め、地域になくてはならない病院として精神科への偏見を無くし、地域への浸透を深める。 									
④ 新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等		別紙1記載										

(3) 再編・ネットワーク化	当該公立病院の状況	<input type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準(過去3年間連続して70%未満) <input type="checkbox"/> 地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討する必要がある
	二次医療又は構想区域内の病院等配置の現況	<p>大仙・仙北圏域にある精神病床は、当院の外、県立リハビリテーション・精神医療センター、仙北市立角館総合病院、医療法人慧真会協和病院である。</p> <p>平成30年3月に作成された新たな秋田県医療保健福祉計画において、平成29年4月1日現在の県全域での精神病床は、基準3,147床、既存3,995床となっている。</p> <p>県全体の精神障害者数は27,004人、病院数は25、精神病床数は4,040床、二次医療圏の大仙・仙北の精神障害者数は4,015人、病院数は4、精神病床数は495床となっており、人口1万人に対する病床数は、38.5床と、県平均の40.0床を下回っている(平成29年3月末現在)。</p> <p>県南地域の精神医療については、仙北市立角館総合病院は、精神科の病床(36床)を平成30年4月から休止し外来のみとしており、今後とも地域の患者の受け入れ態勢の動向を注視していく必要がある。</p>
(4) 経営形態の見直し	当該病院に係る再編・ネットワーク化計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<p><時期> _____ <内容> _____</p> <p>MRI・CTについては市内脳外科医院と撮影及び情報提供について契約している。また、総合病院である大曲厚生医療センター(精神科なし)に入院中の患者で精神症状を呈する患者に対し、当院医師が往診の形で診療を実施している。こうした他院、他科との連携体制を継続、推進することとしているが、再編・ネットワーク化までは、検討していない。</p>
	経営形態の現況 (該当箇所に✓を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
(5) 都道府県以外記載)新改革プラン策定に関する都道府県からの助言や再編・ネットワーク化計画策定への都道府県の参画の状況	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に✓を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<p><時期> _____ <内容> _____</p> <p>平成32年度末 ①医療機関相互の連携、行政・介護施設等との連携を推進する中で、当院の役割、機能を点検、評価し将来の経営形態について検討を行う。 ②患者数に占める他市町村の住民の割合は、約3割を占め、広域的な視点の検討も必要となる。 ③現施設建設時の地方債の償還が令和8年度末で終了する。令和8年度を一つの区切りと想定し、令和2年度末までに現行形態の評価を行う。</p>
※点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	市立大曲病院新改革プラン評価委員会要綱を定め、点検・評価を行う。 (委員を市長部局・病院・民間の各層から選出し委員会を構成する。)
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	年2回(6月ごろ、11月ごろ)
	公表の方法	点検・評価の結果を、病院のホームページで公表する。
その他特記事項		

(別紙1)

団体名 (病院名)	市立大曲病院
--------------	--------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	R01年度 (計画)	R02年度 (計画)
区分	1. 医業収益 a	771	617	634	613	578	603	635	681
	(1) 料金収入	767	613	630	609	574	599	631	677
	(2) その他	4	4	4	4	4	4	4	4
	うち他会計負担金								
収入	2. 医業外収益	220	244	252	263	263	265	249	236
	(1) 他会計負担金・補助金	218	232	240	233	239	241	227	230
	(2) 国(県)補助金								
	(3) 長期前受金戻入		11	11	26	22	22	21	5
	(4) その他	2	1	1	4	2	2	1	1
	経常収益(A)	991	861	886	876	841	868	884	917
支出	1. 医業費用 b	917	807	809	800	791	811	854	881
	(1) 職員給与費用 c	442	459	468	453	475	486	500	524
	(2) 材料費	180	33	34	37	37	36	38	36
	(3) 経費	248	259	252	257	229	240	264	271
	(4) 減価償却費	43	53	53	49	47	47	47	48
	(5) その他	4	3	2	4	3	2	5	2
	2. 医業外費用	43	40	37	34	31	28	25	22
	(1) 支払利息	43	40	37	34	31	28	25	22
	(2) その他								
	経常費用(B)	960	847	846	834	822	839	879	903
経常損益(A)-(B) (C)	31	14	40	42	19	29	5	14	
特別損益	1. 特別利益(D)								
	2. 特別損失(E)			1	1	1	1	1	1
	特別損益(D)-(E) (F)	0	0	▲1	▲1	▲1	▲1	▲1	▲1
純損益(C)+(F)	31	14	39	41	18	28	4	13	
累積欠損金(G)									
不良債務	流動資産(ア)	330	252	268	287	277	285	287	295
	流動負債(イ)	48	115	146	148	148	155	157	155
	うち一時借入金								
	翌年度繰越財源(ウ)								
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)								
不良債務(オ) 差引 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲282	▲137	▲122	▲139	▲129	▲130	▲130	▲140	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	103.2	101.7	104.7	105.0	102.3	103.5	100.6	101.6	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲36.6	▲22.2	▲19.2	▲22.7	▲22.3	▲21.6	▲20.5	▲20.6	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	84.1	76.5	78.4	76.6	73.1	74.4	74.4	77.3	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	57.3	74.4	73.8	73.9	82.2	80.6	78.7	76.9	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額(H)	▲282	▲137	▲122	▲139	▲129	▲130	▲130	▲140	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲36.6	▲22.2	▲19.2	▲22.7	▲22.3	▲21.6	▲20.5	▲20.6	
病床利用率	93.1	89.5	87.6	85.4	80.2	82.7	87.5	92.5	

団体名 (病院名)	市立大曲病院
--------------	--------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	R01年度 (計画)	R02年度 (計画)
収 入	1. 企業債								
	2. 他会計出資金								
	3. 他会計負担金				54	47	50	51	70
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金		1			2			
	7. その他								
	収入計 (a)	0	1	0	54	49	50	51	70
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-(b)+(c) (A)	0	1	0	54	49	50	51	70	
支 出	1. 建設改良費	20	28	6	8	6	1	6	10
	2. 企業債償還金	85	88	91	93	96	99	103	106
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他								
支出計 (B)	105	116	97	101	102	100	109	116	
差引不足額 (B)-(A) (C)	105	115	97	47	53	50	58	46	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	105	115	97	10	5	37	47	46
	2. 利益剰余金処分量								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他				37	48	13	11	
計 (D)	105	115	97	47	53	50	58	46	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	R01年度 (計画)	R02年度 (計画)
収益的収支	(0) 218	(0) 232	(0) 240	(0) 233	(0) 239	(0) 240	(0) 227	(0) 230
資本的収支	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 54	(0) 47	(0) 50	(0) 50	(0) 70
合計	(0) 218	(0) 232	(0) 240	(0) 287	(0) 286	(0) 290	(0) 277	(0) 300

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金というものであること。